式辞

本日、桜が美しく咲き誇る中で、千葉県立沼南高等学校第四八回入学式を挙行できますこと、深く感謝申し上げます。ご臨席くださいました来賓の皆様、並びに保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、皆さんはそれぞれの思いを胸に、この沼南高校の門をくぐりました。いま、この場にいることが、皆さん自身の努力の成果であり、同時に、多くの方々の支えがあってのことだと思います。そのことを、どうか忘れないでください。

今日から皆さんは高校生となります。

高校生活は、中学校までとは違い、学習内容も、生活の在り方も、求められる姿勢も大きく変わります。先生から細かく指示を受けて動く場面は減り、自分で考え、自分で判断し、自分で行動することが増えていきます。

そこで、入学にあたり、皆さんにぜひ大切にしてほしい言葉があります。

それが「決意」と「覚悟」です。

まず「決意」とは、「こうなりたい」「こう過ごしたい」と、自分自身で方向を定めることです。勉強にしっかり取り組む、部活動を最後までやり抜く、新しいことに挑戦する、人として成長する――どんな内容であっても構いません。大切なのは、自分で選び、自分で決めることです。

しかし、決意は立てるだけでは続きません。思ったようにいかない日、努力が結果に結びつかない時、気持ちが揺らぐ場面は必ず訪れます。

そこで必要になるのが「覚悟」です。覚悟とは、困難に直面したときにも、簡単に投げ出さず、自分の決めた道に向き合い続ける心構えです。時間を使う覚悟、努力を積み重ねる覚悟、時には失敗を経験する覚悟でもあります。

覚悟をもって取り組んだ経験は、必ず皆さん自身の力となり、将来を支える土台になります。高校生

活の三年間は、決して長い時間ではありません。しかし、この三年間で何を決意し、どんな覚悟をもって日々を過ごすかによって、その後の進路や生き方は大きく変わっていきます。

本校には、皆さんの決意と覚悟を支える環境があります。教職員は、皆さん一人ひとりの成長を全力で支えます。仲間と出会い、互いに刺激を受けながら学ぶ日々が、きっと皆さんを一回りも二回りも大きくしてくれるでしょう。

新入生の皆さん。今日という日を、高校生活の「出発点」として、しっかりと心に刻んでください。

自分で決めた目標に向かって、覚悟をもって歩み続ける三年間となることを、心から願っています。皆さんの高校生活が、実り多く、充実したものとなりますよう祈念し、本日の式辞を締めさせていただきます。

令和8年4月7日

千葉県立沼南高等学校　校長　塩田　隆